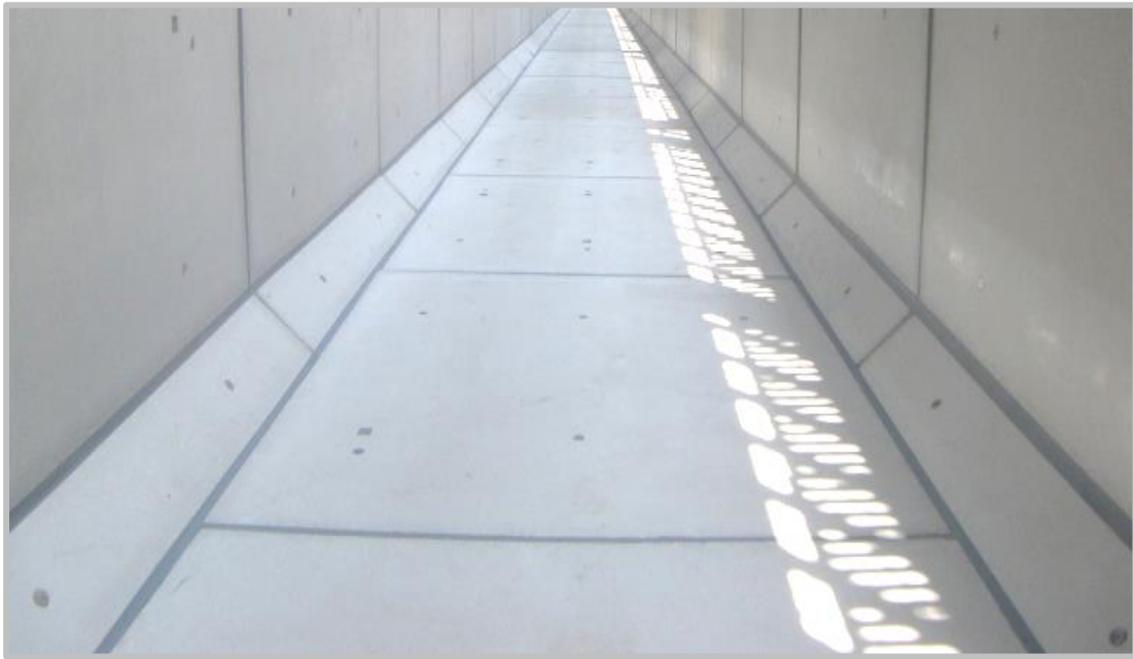


高耐久性レジンコンクリートパネルの利用による構造物補修 ASフォーム工法(緩衝材仕様)



ASフォーム工法(緩衝材仕様)は、ASフォーム(高耐久性レジンコンクリートパネル)の様々な優れた特性を活かした既存構造物の補修工法です。

緩衝材を使用することで従来工法に比べ安価に対応でき、ライフサイクルコストを低減することができます。また、緩衝材を製造工場では一体化させ現場納入する為、工期短縮が可能です。

ASフォーム工法(緩衝材仕様)の特性

- ① 耐摩耗性に優れています。(普通コンクリートの約10倍の耐摩耗性)
- ② 水理特性(平滑性)に優れています。(粗度係数:0.0084)
- ③ 塩害・中性化・凍害・腐食等に対する耐久性に優れています。
- ④ 耐候性に優れています。
- ⑤ 緩衝材を使用することで従来工法に比べ安価に対応できます。
- ⑥ 緩衝材を製造工場では一体化させ現場納入することで工期短縮が可能です。

ASフォーム工法(緩衝材仕様)の物性及び構造

物性値一覧

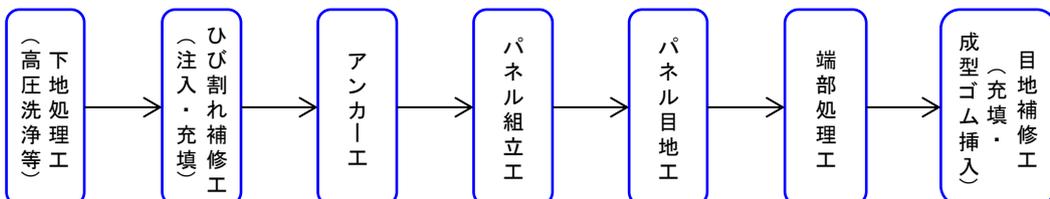
項目	特性値
圧縮強度	80N/mm ² 以上
曲げ強度	20MPa以上
静弾性係数	20GPa以上
耐摩耗性	普通コンクリートの約9.4倍
凍結融解抵抗性	105%

※上記の値は、規格値ではありません。

構造他

項目	特性値
板厚(施工厚)	8mm(18mm)
緩衝材	発砲ポリエチレン(15倍)
目地材	2成分形変性シリコン樹脂
ASフォーム製造可能範囲	2000(Max) × 1000(Max)

ASフォーム工法 施工フロー



農業水利施設補修例



材料搬入(緩衝材付きパネル)



パネル設置工



アンカー工
(削孔状況)



アンカー工
(打設状況)



パネル目地工
(弾性シーリング材充填状況)



施工完了

この内容は2021年6月現在のものです

(事務局)

ベルテクス株式会社

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2

TEL : (03)3556-0472 FAX : (03)3556-2721

URL : <http://www.infra-mainte.jp>

インフラ保全技術協会

Association of Maintenance Technology for Infrastructure